

真宗佛光寺派  
大阪教区・  
別院だより

# 大悲

第51号

令和5年(2023年)  
10月1日 発行



秋へと続く散歩道（大阪市東住吉区、長居公園）

井上陽水の五十年前のヒット曲「傘がない」に「テレビでは 我が国の将来の問題を 誰かが深刻な顔をしてしゃべっている だけでも問題は今日の雨 傘がない」とあります。私が幼いころに流行した歌ですが、改めて聞き直すと、ただ若者の無関心さを揶揄しただけの歌ではないと知りました。

テレビや新聞が報じるのは、いつの時代も国家の大事や凶悪で悲惨な事件ですが、知ったところで何もできないもどかしさがあります。今の私は、そのような報道に心痛めながらも、高血圧や白内障など、次から次へと波のように押し寄せる老いの症状に振り回されています。

この歌が流行していた頃とは社会情勢は変わっても、変わらないものがあります。それは、「だけでも問題は今日の雨 傘がない」と目の前の事象に振り回されている私たち人間のすがたであると指摘してくれているように聴こえます。

（葦名彰）



# と う ひ が ん 到 彼 岸



闇に気づく

なかい しょうりゅう  
最勝寺 中井 翔隆

豪雨の中、傘も差さずに境内を走り、お参りされている方の案内をしていた姿が印象的でした。

私も十数年前、本山の学生寮に住んでいて、法要の度にお手伝いしていましたが、彼らほどの熱心さもなく、楽ばかりしようとしていました。それに対し、法要を円滑にお勤めできるよう一生懸命な彼らに、かつての自身の姿を重ね合わせると、恥ずかしく思います。

## 見えないもの

今まで自分の姿に恥ずかしさを覚えることなく、疑いもしませんでした。

その姿を「無明」というのでしよう。

「無明」という深い闇の中を生きる私は、自分自身の姿を見失うだけではなく、周りのことも見えておらず、平然と過ごしているので、自身の恥ずかしさにすら気づけないのです。

## 気づくというスタート地点

学生スタッフの頑張る姿を通して、十数年の時を経て、過去の自分自身に会ったように思います。その姿は決して誇れるものではありませんでしたが、その姿こそ本当の私の姿なのです。

誇れる姿ではないからといって、過去をやりなおしたくても、やりなおすことはできません。しかし、過去の自分を見つめなおし、恥ずかしい姿だった：という「気づき」と共に歩んでいくことはできます。

慶讃法会をお手伝いさせていただく縁が「気づく」ということに早いも遅いもなく、気づいたところから、歩み始めればいと示してくれているように思います。



五月に本山佛光寺にて、慶讃法会がお勤めされました。私も三日間、寺族スタッフとして法要のお手伝いをさせていただきました。寺族スタッフ以外にも、門徒スタッフ、学生スタッフ、ボーイスカウトの方々がそれぞれ役割分担され、三期九日間の法要をお手伝いしていました。

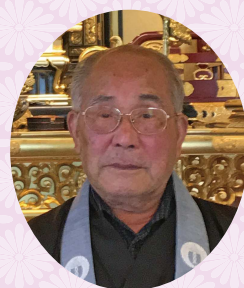
境内でバス誘導係を担当していた時、ふと目を横にやると、学生スタッフが、



# 如<sup>によ</sup>是<sup>ぜ</sup>我<sup>が</sup>聞<sup>もん</sup>

ようこそ、ようこそ

大阪教区 仏願寺 藤井良丸師<sup>ふじう よしまる</sup>



来所以興出世 唯説弥陀本願海、つまり「ただ阿弥陀の本願を説くため」でした。

言葉を変えていうと、「何とこの親鸞のためにインドの大地にお出まじいただきました。ようこそ、ようこそお釈迦さまがお出まじくださったおかげで、この親鸞人生むなしく送ることなく、目を覚まさせていただきました」と親鸞聖人はお釈迦さまをお讃えになったのです。

## 法座は楽しい

最後に藤井師は「ご法座は楽しい、いろんな人のお育てがあった。いろんな人があの手この手で私を揺さぶってくださる。ご門徒さん、亡き父母。ようこそ、ようこそ」と喜んでおられました。

(長田 謙 記)

令和五年六月十六日、大阪

といいます。

別院で、仏願寺住職の藤井良丸師を講師に、さつき会研修会が開催され「ようこそ、ようこそ」の講題でお話しくさいました。

## 生まれた意味

藤井師はじめに、以前親戚の子どもさんが口ずさんだ「何のために生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのは嫌だ」という「アンパンマン」のテーマソングを聞いておどろいた

地球に生命が誕生して三十億年培われてきたいのちのあゆみから、今いのちを頂いてどう生きるのか、作詞家のやなせたかさんのこのメッセージは、魂を揺さぶられる重い言葉だと話されました。

また、NHKスペシャル「やなせたか」とアンパンマンの世界」では、道行く人に「何のために生まれて 何をして生きるのか」は誰の言葉でしょうかと聞く街頭インタビューが放映されました。やなせ

さんと言い当てた人は誰もいなかったものの、一人の男性が「お釈迦さま」と答えたといいました。藤井師はその回答にうなずかれ、お釈迦さまはこのような問いを私たちに投げかけてくださったのですとおっしゃいました。

## 親鸞聖人の問い

では、お釈迦さまは何のために生まれてこられたのかという問いを、親鸞聖人は經典に尋ねられました。そしてその答えとして導かれたのが「如



# 大阪探検

## 京街道



京街道(守口宿跡付近)



文禄堤跡



枚方宿鍵屋資料館



(隅谷俊紀)

左記のQRコードから情報を入手してください。

大坂と伏見に城を築いた豊臣秀吉は、1596(文禄5)年に、2つの城を結ぶため、淀川沿いに約27kmにおよぶ文禄堤を整備しました。この堤(堤防)を含めた大津から大坂に至る全長約60kmの道が京街道です。そして、街道沿いには、東から伏見、淀、枚方、守口に4つの宿場町が設置されました。

近年では、東海道五十三次の大津宿から大坂に向かうこの4つの宿場町を加えて、東海道五十七次とも呼ばれています。

### 守口宿・枚方宿

文禄堤の多くは、たび重なる淀川の改修でその姿を消しましたが、

守口宿跡(京阪本線守

口市駅付近)には現存しており、今でも堤の上には、街道を挟む形で、住宅やビルが建っています。また、枚方宿跡(京阪本線枚方市駅付近)には、その歴史を紹介する市立枚方宿鍵屋資料館(有料)があります。

### 見どころ

京街道のなかでも京橋(京阪本線京橋駅)から守口まで約6kmの道のりは、今でも旧街道の面影が残っている箇所が多く、散策してタイムスリップしてみるのも楽しいでしょう。

また両宿場跡は駅からも近く、電車で現地まで行き、大名が泊まったり、旅人が休憩したりした場所に思いをはせてみるのも一案です。

京街道の詳細地図、またその他の見どころは、



# ごえんさんを訪ねて

あんにようじ

安養寺

(大阪市浪速区)

なぎさ あきら

緒 晓 住職



安養寺は戦国時代初期の永正4(1507)年に創建されました。

昭和20年3月13日の大阪大空襲により本堂・庫裏が全焼しました。「東大寺二月堂から見ると生駒山をシルエットに、大阪の空が真っ赤に染まった」というほどの大規模な空襲だったといえます。

昭和26年には浪速幼稚園を開園し、幼稚園の講堂兼本堂という形を取っていましたが、昭和42年に本堂・庫裏を再建しました。

平成28年には宗祖親鸞聖人七五〇回大遠忌法要、内陣修復落成・開創五〇〇年慶讃法要を厳修されました。

## 漆黒の阿弥陀如来

安養寺の阿弥陀如来は昭和20年の大阪大空襲の被害から逃れるため井戸の中に避難させたそうです。

その後、井戸から引き上げると阿弥陀如来の金箔ははがれ真っ黒にな



漆黒の阿弥陀如来像

和62年38歳の時、第18代住職を継職されました。その後も法務を勤めながら、62歳まで教員生活を送られます。

っていたそうです。おそらく焼夷弾の熱で井戸の水が高温になり金箔ははがれ落ちたのだろうというお話を聞き、空襲の恐ろしさを感じました。

## 教員生活をしながら

住職は大学卒業後、寝屋川市内の小学校教員を歴任されました。

教師を志した動機を伺いますと、大学生の時に行った教育実習で受け持った2年生の児童たちがとても素直だったことがきっかけで教育に携わる道に進みたいと決意されたそうです。

そして平日は学校、休日は法務を勤めるといふ生活を送りながら、昭

に思い出されることは、初めて担任として受け持った児童と休日には遊びに出かけるなど過ごした時間がとても印象深く、今でも大切な思い出だと懐かしんでおられました。

最後に毎年、難波5カ寺で永代経法要を当番制で勤めているが、ここ4年コロナの影響で中止になっているので是非、来年こそはお勤めしたいの思いを話されました。

(玉出宗順)

■安養寺(あんにようじ)

〒556-0016

大阪市浪速区元町3-7-24

電話 06-6641-1015

Fax 06-6641-1015

# 大悲トピックス

## ■慶讃法会団体参拝

本年5月、3期9日間にわたり、本山佛光寺にて慶讃法会が厳修されました。

大阪教区からは各寺院がそれぞれの日程で団体参拝し、あわせて約400名が参詣いたしました。



## ■懇志御礼

福井県敦賀市 光照寺様  
北海道島牧村 軽白寺様

## ■お悔やみ

謹んで哀悼の意を表します。

第六組・報恩寺

寺田光子様 (7月27日寂)

創業100余年・お墓の専門店

**石留石材** 株式会社

土日祝もご相談いただけます(8時~17時)

☎ **0120-53-5578**

■本社：大阪府藤井寺市津堂2丁目9番29号

御本山 **近** 用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル **0120-075-055**

(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話(075)371-0367(代)

FAX(075)371-5088

浜屋は関西最大級の  
お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の  
専門店です。

やすらぎの  
世界を創る



**浜屋**

お問い合わせ  
お申し込み

通話料無料/浜屋姫路本社フリーダイヤル  
**0120-1616-94**

●受付時間/午前10時~午後6時30分

仏跡参拝なら専門旅行会社に  
お任せ下さい!!

~歩もう仏陀の道のりを~



株式会社 **モントラベル**

〒550-0013

大阪市西区新町1-8-1 行成ビル

お気軽にお問い合わせください

TEL. 06-6531-1344

創業安政3年  
京佛具調進  
森田屋

**福野御佛具處**

〒601-8424

京都市南区西九条猪熊通九条上る

tel. fax 075-691-8423

お墓なんでも相談センター

とわのおもかたちかえ  
永遠の想いを像に還るお手伝い



**ヨシザワ**

株式会社吉澤石材工業所

フリーダイヤル **0120-49-1482**



# だいひ 絵日記

- 7月12日(水) 大悲の会編集会議(第51号読み合わせ)(オンライン会議)  
7月26日(水) 法友会研修会  
(慶讃法会基本理念をどう生かしていくのか、講師：中井賢隆師)①  
7月28日(金) 大悲の会編集会議(第51号読み合わせ)(オンライン会議)  
8月13日(日) 大阪別院孟蘭盆会(～15日)  
8月25日(金) 大悲の会編集会議(第51号読み合わせ)(オンライン会議)  
9月8日(金) さつき会研修会(恩徳讃唱歌、講師：門川絢子師)②  
9月20日(水) 大阪別院彼岸会(法話：中井翔隆師)  
9月22日(金) 大悲の会編集会議(第51号発送作業・第52号内容検討)  
9月23日(土) 大阪別院彼岸会(法話：玉出宗順師)  
9月26日(火) 大阪別院彼岸会(法話：葦名彰師)

(法友会=住職会、さつき会=坊守会)



協賛

**佛青懇和会**

大阪教区の青年会  
(会長：門川崇志)

協賛

**さつき会**

大阪教区の坊守会  
(会長：玉出みゆき)

協賛

**法友会**

大阪教区の住職会  
(会長：寺田宗隆)

## ■誌面広告の募集 (『大悲』発行は広告によって支えられています)

企業・団体・寺院の広告を誌面に掲載させていただきます。

1区画(55mm×40mm)、掲載1回につき5,000円です。

## ■定期購読の受付 (ご門徒の皆様方にもお渡しく下さい)

『大悲』の定期購読は、1部につき30円です(送料込)。10部単位でお願いいたします。

## 法要のご案内

## お寺の掲示板

**大阪別院  
報恩講**  
10月27日(金)  
午後2時より  
法話  
大谷 義文 師  
(熊本・阿弥陀寺)

損得の計算がはたらくとき  
頭を下げる  
なるほどそうかと  
身にしみるとき  
頭が下がる

## 編集秘話

お盆参りが始まった頃、沖縄に台風が来ました。大阪には接近しなかったことでホッとした私。そこには影響を受けた方々を思う気持ちなど皆無でした。今号は担当がなく、他の方の原稿に意見だけを言いながら、数回に一度の解放感に浸っていた私。お盆の終わりに、次の台風が大阪を通り過ぎて行きました…。(門川)

## 編集後記

お盆が終わったあと、世界遺産でもある「春日山原始林」を見るため奈良に向かいました。しかし、ハイキングコースの入口には「土砂崩れ・倒木のため通行禁止」の立札が。別の二カ所の入口も同様でした。おそらく直近の台風の影響でしょうか。準備万端で出かけましたが、思い通りにはいきませんね。(編集長・隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』第51号(秋号)  
令和5年(2023年)10月1日発行(発行部数2200部)  
発行：大悲の会  
事務所：佛光寺大阪別院内  
〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-11-24 電話06-6691-1362  
郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」  
ホームページ(HP) <http://daihi.org/> (ご意見・ご感想はHP内の「お問い合わせフォーム」より)

大悲の会  
長田 譲(会長) 門川 崇志(監事)  
隅谷 俊紀(副会長) 佐々木 太一  
寿栄松 正頭(会計) 葦名 彰  
玉出 宗順(会計) 中井 翔隆